

1 開催日時 令和3年5月18日(火) 午前9時57分～午前10時52分

2 開催場所 長野市役所第二庁舎10階 会議室203

3 出席者 出席委員6人、欠席委員1人、事務局職員7人、

4 次第 1 開 会

2 あいさつ

3 自己紹介

資料1-1～2

4 協議事項

(1) 長野市自転車活用推進計画に係る事業計画(案)について

資料2-1～2

5 その他

#### 【4 協議事項】

##### (1) 長野市自転車活用推進計画に係る事業計画(案)について

事務局から資料2-1～2に基づき説明を行った。

[意見等]

##### ◆A委員

- ・資料17ページで交通安全教室を実施することだが、地域の団体やグループの集まりに指導に来ていただくことは可能か。
- ・青年会議所が篠ノ井駅前でレンタサイクル事業を行っている。これは、南長野運動公園でAC長野パルセイロの試合が開催される時に利用して欲しいという思いで設置した。しかし、試合当日は駅から南長野運動公園へシャトルバスが運行されているため、レンタサイクルを利用している人をほとんど見たことがない。レンタサイクルの活用を推進するためにも市から指導等をしていただけるものか。
- ・標識については、自転車が走行できる歩道なのかわからず、利用者は不安に思っているため、標識の設置を推進していただきたい。

⇒事務局

- ・交通安全教室については、地区で集まる機会にも講師を派遣することができるので、ご要望があれば地域活動支援課までご連絡いただきたい。

##### ◆B委員

高齢者を対象にした教室を開催する際に、高齢者の自動車運転のリスクについても話しをしているか。高齢者の中には、足が不自由になってきたから自動車に乗るという考えの方もいると思うので、教室の中でリスクについて指導していただきたい。

##### ◆A委員

高齢者の中には、見ていて心配になるような自転車の運転をされている方がいるが、誰も注意をしない。認知症の疑いがあるような方等への指導はできないのか。

⇒事務局

・市や社会福祉協議会、民生委員など高齢者とのつながりが強いところで、そういった指導はしていただいている。

ただ、自転車に乗ってはいけないという指導については、ご家族からお話しいただかないと、なかなか受け入れていただけない事もあると聞いている。

・篠ノ井駅前のレンタルサイクルについては、南長野青年会議所で実施されている事業で、駅前を起点として、地域全体を巡っていただきたいという趣旨で始められたもの  
地域でも後押ししている事業なので、市から指導するというよりは、地域の皆さんと青年会議所が協力して利用促進につなげていくことを期待している。

◆C委員

事業計画や事業報告については、市民へしっかり情報発信をしていただきたい。

広報やホームページなど情報発信はどのように考えているか。

⇒事務局

5月末に開催する公共交通活性化・再生協議会に諮り、承認いただいたところでホームページ等へ掲載し周知したいと考えている。

◆B委員

サイクルツーリズム専用ウェブサイトの「NAGANO CYCLING」には、コースの紹介以外に、カフェ・宿・お土産などの情報も掲載されているか。

⇒事務局

宿については、自転車を部屋に持ち込めるかなど、サイクリストが必要とする情報を掲載している。

カフェ等については、現時点ではわからないが、ながの観光コンベンションビューローに確認する。

◆B委員

サイクリストにとって、飲食店の情報はとても大事。飲食店にとってもメリットがあることなので情報発信していただけるとありがたい。

◆D委員

資料14ページの通行空間の整備は、昨年度5路線、今年度2路線の詳細設計をして令和4年度から施工とのことだが、どのような整備形態になるか。

⇒事務局

道路整備については、全線において矢羽根の設置を考えている。

◆B委員

- ・以前からお話ししているが、自動車から自転車へ乗り換えていただくことが、大きな目的となる。メインターゲットは自動車通勤をしている人になると思う。しかし、一定以上の速度で自転車が走行することができないと、自転車へ乗り換えるメリットがでてこないと思う。今後、国・県・市それぞれの道路を整備する際に、一定の速度以上で走行するスポーツサイクルの視点でも検討していただきたい。
- ・自転車通勤の促進について、会社に対してのアプローチは考えているか。

⇒事務局

今後、ターゲット・エリア等を決める中で、どのような方法が良いのか検討していく。

◆B委員

- ・2050年にカーボンゼロを達成するためには、自転車や公共交通に乗り換えていただくことが必要である。  
自動車通勤がしやすい環境にある企業に対しては、協力をお願いするなどの対応を時期を見ながら始めていかないといけない。  
経済的なインセンティブも含めて企業と相談していただきたい。

◆D委員

17 ページのサイクリングコースを活用した誘客については、新型コロナウイルスの影響もあるので大々的に実施するのは、難しいのではないかと。

⇒事務局

その点については、観光サイドも非常に気にしている。アフターコロナを見据えた情報発信をしておくということもあり、事業計画に挙げている。

事業実施にあたっては、当然コロナ対策を行いながら進めていく。

【5 その他】

本部会は、年2回程度開催をしており、次回は令和4年3月を予定している。  
今年度は、「公共交通計画」を策定する。計画内には自転車に関係する部分も出てくるので、その際には協議等をお願いする場合がある。

午前10時52分終了